

静岡松涛タイム 第70号

発行元：静岡県本部広報部 責任者：置塩大三郎

連絡先：0547-35-4537(TEL&FAX)

E-mail：takkukan@lemon.plala.or.jp

県本部 HP：http://www.shizuoka-karate.com/

広報部 HP：http://plaza.across.or.jp/~cyber-ex/

■平成 27 年静岡県本部新年会■



平成 27 年 1 月 25 日(日)、静岡市内の「ホテルセンチュリー静岡」にて執り行われた松涛連盟静岡県本部主催の新年会へ出席させていただきました。大井本部長や松井会長から新年に向けての抱負や決意、2020 年東京オリンピックで空手道の競技種目採択に向けての話、来賓の皆様からも心に響く挨拶をいただきました。県内各地より大勢の来賓の皆様や先生方が参加されており、和やかな雰囲気の中で先生方とお話をさせていただき大変貴重な時間を過ごさせていただきました。

東京オリンピックで空手道が競技種目に決定すれば新たな大きな目標となりそれぞれの目標に向かって子供達もより一層日々の稽古に励むことと思います。また、まだまだ未熟な私達ですの一から勉強する気持ちで日々の稽古や女性会員技術講習会などに積極的に参加し、今年も子供と一緒に切磋琢磨し親も子も成長していきたいと改めて思わせていただくいい機会になりました。年々動かなくなる体ですが子供達に負けないよう勇気を振り絞って、常に前に進んでいきたいと思ひます。(レポート：浜松将陽館 高橋貴美・高田真代)

■稲毛隆師範 会長賞受賞記念祝賀会■



平成 27 年 2 月 21 日(土)に稲毛隆師範(清水支部烈士館)の総本部会長賞受賞の記念祝賀会が、ホテルセンチュリー静岡で開催されました。静岡県では、水上師範、松永師範も受賞された、たいへん名誉な賞であります。稲毛先生は、1961 年 18 歳時から空手道に入門、1966 年第 1 回

静岡市民空手道大会に於いて型・組手総合優勝、1970 年第 13 回東海地区空手道選手権大会個人組手優勝と輝かしい成績を収められております。2006 年には松涛連盟八段位を取得し、同年県本部長を務め、現在副会長、2013 年より東海北信越地区連合会々長に就任しています。祝賀会は、大勢の先生方に出席して頂きました。空手の演武は、稲毛先生門下生で、川口・春寄・花村親子による型の演武です。子供さんによる「鉄騎二段」母親による「珍手」と迫力のある演武でした。記念品、花束贈呈では、先生ご夫妻の仲睦まじい姿が印象的でした。最後に、会長賞を受賞された先生方を目標に県本部一丸となって頑張っていきたいと思ひます。(レポート：島田支部 拓空館 置塩大三郎)

■県本部主催技術講習会■



平成 27 年 2 月 15 日(日)静岡市郊外の静岡北部体育館にて、県本部主催の技術講習会が行われました。2 月も半ばといえ、外は小雪の混じる厳しい寒さの中、今回は約 130 名の参加者があり、冬の寒さなど吹き飛ばす熱気あふれる練習となりました。午前の部では、増

田誠二師範(西焼津支部誠空館)、上條康光先生(清水支部烈士館)による車椅子の基本の動きと型の初輪の手解きを受けました。その後、増田師範と、全国大会での優勝をはじめ、様々な大会での優勝経験を持つ岡村好幸氏(西焼津支部誠空館)による組手の動きを間近で見せていただきました。車椅子を巧みに動かしながらの素早い攻撃は鮮やかで、素晴らしいものでした。松涛連盟に所属しているからこそ車椅子空手もぜひ習得していきたいと考えています。一方、少年部では基本の突き・蹴り・受けなどの他、受けてから蹴るという応用動作や、平安の型を細かく指導いただいた様です。午後の部は、順路型を先生方から、順路初段～五段を型毎に交替で指導していただき、その後、難易度の高い得意型についても技の意味を丁寧に解説いただきました。これから二段を取得することを目標にしている私にとりまして一つ一つが良い勉強となりました。最後に組手の練習をしました。軽く跳ねる様なフットワークを活かした動きの中から、自然に繰り出す攻撃と受けてからの素早い返しを練習しました。2020年開催の東京オリンピックでの正式種目を見据えた新しい練習の様でした。空手も常に変わって行くのだと感嘆いたしました。今回の講習会をこれからの練習に活かし日々精進して行きたいと思っています。本日参加されました大勢の先生方、丁寧な御指導ありがとうございました。(レポート：清水支部烈士館 川口洋充)

■第16回 西部地区空手道大会■



平成27年3月9日 菊川南陵高校にて平成26年度の西部地区空手道大会が開催されました。幼年から一般まで約100名の選手の参加でした。静岡県西部地区と言えば全国大会に於いても、常に上位に名を連ねる選手が多い、全国でも屈指の強豪地区として知られております。中部地区に比べ少ない選手での大会ですが、形・組手共に

その技術力は年々確実に向上し、いつにも増して白熱した試合が多かったと思います。その選手層も厚く、全ての種目の試合が成立するバランスの良い大会でした。大会を円滑に運営する為の「コート係員」「会場係員」といったスタッフは南陵高校空手道部を卒業した岡村拓巳君(清水南支部)と野球部の生徒がボランティアで担当し、万全の態勢で大会をサポートしていただき、無事に本大会を大成功させる事ができました。これからも、中部地区に追いつけるように、松涛連盟の会員拡大及び技術向上に精一杯努力致します。(レポート：浜松将陽館 菊地伸幸)

■平成26年度3月期昇段審査会■

■少年部初段■	岩下 侠(高 洲)	杉山 獅隆(駿 河)	川口 高雅(高 洲)	千葉 陽加(焼将陽)
白ヶ谷野花(高 洲)	永田 莉菜(青 島)	渡邊 青波(静岡北)	望月 飛勇(高 洲)	加茂 勇斗(浜将陽)
斎藤 瞬(焼将陽)	岩下 凜(高 洲)	小林 悠斗(岡 部)	園田 荘太(清水南)	岡村 滉大(川 根)
高林 尚史(清 水)	山梨 裕輝(清 水)	高田 隼弥(清 水)	望月 康矢(静岡東)	■一般部初段■
小松 真子(焼 津)	中村 剛子(川 根)	小池 和弘(浜将陽)	紙谷 徹(御殿場)	■少年部式段■
堀田つばめ(駿 河)	川村 杏(麻 機)	児玉 心(藤 枝)	松田 龍明(駿 河)	曾根 葵(高 洲)
松田 美夢(駿 河)	■一般部式段■	鈴木 千穂(島 田)	■参 段■	村松 久乃(藤 枝)

■第14回将陽館・鷹生館・拓空館交流試合■



平成27年3月29日(日)、藤枝市の静岡県武道館において、第14回三支部交流試合を開催しました。当日はまだ肌寒い1日でしたが、試合の方は熱気がこもった対戦が繰広げられました。午前中に型及び基本試合、午後からは組手の試合を行いました。試合中には、気迫がこもった試合をする色帯・黒帯の選手達や空手を始めて間もない小さな子供が大きな

気合を出して試合に挑む勇敢な姿には目を見張る物があり、会場に応援で駆けつけた家族の前で日頃の成果を発揮する事ができました。3支部での小さな大会でしたが、子供達の胸の内では次の県大会や東海・全国大会に向けて毎日練習を頑張ろうと言う思いを秘めているように思えました。当日は県内の松涛連盟各支部の先生方に審判等のお手伝いをいただき、とても感謝しています。これからもこの三支部交流試合を続けて行き、各道場生達との交流や誠心と

技術の向上を目指せる交流試合にしていきたいと思います。

(レポート：藤枝高洲支部鷹生館 小椋 明)